

がん診療連携拠点病院 現況報告アンケート結果の概要

平成27年7月1日
国立がん研究センター
がん対策情報センターがん臨床情報部
東 尚弘

現況報告の目的

- がん診療連携拠点病院指定要件の確認
- がん対策の進捗評価
- 患者への情報公開

現状の問題

- ① 記入負担が大きい（48/53施設）
- ② 担当部署が院内で分散
- ③ 書き直し、差し替えが多い
- ④ 毎回同じ内容が異なる形式で収集
- ⑤ データ集計の統一が困難（正確性）
- ⑥ データの活用が不十分

考えられる対策

- 必要データの中央集計
 - 院内がん登録、DPC、レセプト
- インターネット入力（Web）
 - 院内での複数部署でも入力可能
 - 差し替えも簡略化
 - 前回データは参照
- エクセル、CSVによる公開
 - 各施設一覧となり、データ活用を促す

中央集計への回答 (II-2②)

賛成：47 反対：1 わからない：5

個別意見（懸念）

- 使用されるデータは本当に正しいのか？
→ 施設で確認（？）

国がん側での懸念

- データの取得手続き
- 手間・人員

Web入力への回答 (II-5)

賛成：25 反対：15 わからない：13

個別意見（懸念）

- Webページの作成ができるのか → . . .
- 院内でのデータ保管が必要 → 対応可
- 確認が難しい → ??
- セキュリティ → 公開情報
- ネット環境が遅い
- 印刷がしづらい
- エクセルの方が集計しやすい

エクセル・CSVの公開への回答 (II-5)

賛成：30 反対：2 わからない：20

個別意見

- 施設間で集計法がばらばらでは誤解を生む
- 他と比較をしたい
- 施設で載せるか選択制にしたらどうか

追加項目・削除項目

- 個別の項目は資料参照
- 共通意見
 - 項目が多すぎる。趣旨が不明
 - 事前に内容を教えてほしい
 - 回答期間が短い
 - 項目によって対象期間が違うのでやりづらい
 - 数年に1回にしてほしい
 - 常勤換算は非常に労力がかかる